

第2回 NAGASE カップ 国立競技場で開催決定
“誰もが参加できるインクルーシブな大会”
健常とパラ 垣根を越えてアスリートが挑む陸上競技大会

長瀬産業株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長：朝倉 研二、以下「長瀬産業」）は、2023年9月2日（土）、3日（日）に国立競技場（東京都新宿区）にて開催される「第2回 WPA 公認 NAGASE カップ パラ陸上競技大会」（以下、「NAGASE カップ」）に協賛いたします。本大会は、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（以下、「JPA」）が主催、長瀬産業が特別協賛するもので、今回で第2回目となります。



NAGASE カップは「日本陸連公認の部」と「パラ公認の部」からなるインクルーシブな大会で、国際的な大会に出場経験のあるアスリートなどのほか、日本陸連に登録する中学生以上のアスリートが障害の有無にかかわらずレースに臨む大会です。2022年7月に行われた第1回大会では、知的障がいを含むパラアスリート137名、健常者156名の計293名が参加、世界記録を含む15個の記録が誕生する大会となりました。

第2回は、今後NAGASE カップを様々な都市で開催し、アスリートや観客など、より多くの方々に参加してもらいたいという思いから、国立競技場に舞台を移し開催する運びとなりました。また、競技や大会プログラムの充実を通じて“誰もが参加できるインクルーシブな大会”を目指してまいります。



国立競技場 提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター



第1回 NAGASE カップ 競技の様子

NAGASE グループは、2018年にブラインドランナーの和田伸也選手を社員に迎え、スポーツの力、アスリートの力が社会や社員に与える影響の大きさを感じてきました。朝倉研二社長は、「昨年初開催されたNAGASE カップを通じて、記録に挑むアスリートの気概や、真剣勝負の面白味は障害の有無に関わらず全てのスポーツに共通するものだ」と改めて実感しました。今後も続くNAGASE カップが、アスリートや観客、ボランティアの皆さんに新しい体験、価値観との出会いを提供する場となることを期待しています」としています。

国内で WPA 公認大会を開催できる環境づくりに取り組む JPA・増田明美会長は「第1回大会では、健常者、障がい者はもちろんですが、ボランティア、観客までもが分け隔てなく陸上競技を楽しんでいて、陸上界に新しい風を送り込んでくれたと感じています。今後、この大会を通して更に選手の強化が進み、インクルーシブな空気が競技場から街へ、そして社会へと広がることを期待しています」としています。

■大会概要

大会名：第2回 WPA 公認 NAGASE カップパラ陸上競技大会

開催日時：2023年9月2日（土）、3日（日）

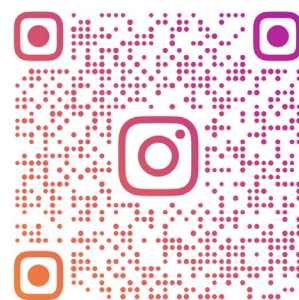
開催場所：国立競技場（東京都新宿区霞ヶ丘町10-1）

■大会公式メディア

ウェブサイト：<https://www.nagase.co.jp/nagasecup/>

Instagram：https://www.instagram.com/nagasecup_since2022/

公式 Instagram アカウントはこちら



NAGASECUP_SINCE2022

◆本件に関するお問い合わせ先

<報道に関するお問い合わせ>

長瀬産業株式会社 サステナビリティ推進本部 広報・ブランディング室

TEL：03-3665-3640

<大会概要・出場資格についてのお問い合わせ>

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

広報 小山哲矢

koyama@para-ath.org

TEL：090-8725-6654